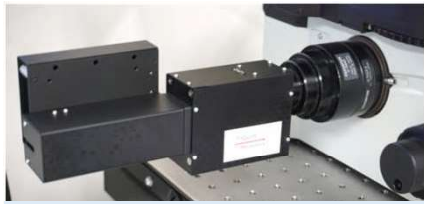


## お持ちの顕微鏡/実体顕微鏡でレーザ光照射ができます。

UVレーザ、NIRレーザにも対応(波長範囲340-1600nm)



Attaching to side camera port

## 特徴

## ① Cマウントカメラポートにダイレクト接続

- 光学顕微鏡のカメラポートに特殊アダプタなしで取り付け可能
- カメラ内蔵により試料上のレーザ照射位置の観察・記録が可能

## ② 照射レーザ光の光量調整/変調可能(基本ソフトウェアの機能)

- レーザ光の注入電流の時間変調照射が可能

Attaching to camera port  
above eye-piece

## 用途

## ① 光学顕微鏡用途

DNA損傷、Photostimulation、Uncaging、FRAP、  
OptoGenetics(光遺伝学)、IR LEGO(熱ショック応答)、など

## ② フィールドレンズ用途

UV接着剤の硬化、光ワイヤレス給電、など

## 照射レーザ波長

## ① 標準CW光源

- 波長: 405nm、450nm、488nm、514nm、532nm、640nm
- CW光源を2波長搭載することも可能です。

## ② 特注対応光源

- 上記以外のCW光源およびパルスレーザ光源にも対応します  
対応波長範囲: 340nm – 1600nm  
(弊社実績波長: 375nm, 561nm, 1480nm)



Attaching to C mount lens

## オプションパーツ/オプション機能

- タイムラプス観察機能
- NDフィルターユニット
- フォーカス / スポットサイズ調整ユニット
- TTL信号を用いた他システムとのタイミング連携機能

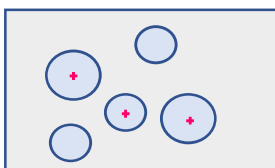
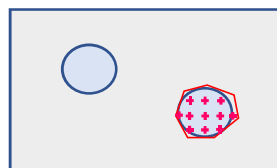
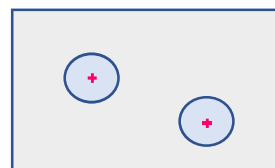
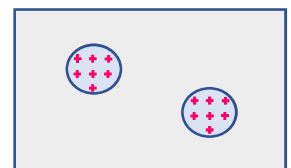
## グレードアップ対応

## ① スキャンユニットの購入によりPixel illuminator-Cへのグレードアップが可能

- Pixel illuminator-Basicのパーツを用い低価格でアップグレードが可能

## ② グレードアップにより任意のレーザ照射位置の指定が可能

- カメラ撮影画像上でPCマウスによりレーザ照射位置を指定
- お客様のカメラ画像からのレーザ照射位置指定も可能
- レーザ照射位置は、照射点の指定および照射領域の指定が可能

照射点指定  
(マニュアル)照射エリア指定  
(マニュアル)明領域の中心  
(自動)明領域の塗りつぶし  
(自動)